

組立説明書 NE-1230

# TYPE-A TARP TENT

## TYPE-A タープテント



naniwa co.,ltd. <http://www.northeagle.co.jp/> tel.0120-68-4577

この度はTYPE-A タープテントをお買い上げいただき誠に有難うございました。  
テント設置の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んで下さい。  
また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設置して下さい。

### セット内容の確認

- |               |     |                 |      |
|---------------|-----|-----------------|------|
| ●本体           | ×1張 | ●自在付ロープ (本体に付属) | ×8本  |
| ●フライシート       | ×1張 | ●自在付ロープ (タープ用)  | ×2本  |
| ●メインポール (A字型) | ×1本 | ●ペグ             | ×15本 |
| ●キャンビーボール     | ×2本 | ●ハンマー           | ×1本  |



### テント設置方法

1. 本体 4 隅にペグを打ちます。



2. 本体外側 2 か所のピンをメインポール (A字型) に差し込んでください。



3. メインポール上部のひっかけ穴に本体頂点に付いているカラビナをかけて本体を立ち上げて下さい。



4. 本体の形に沿ってフライシートをかぶせてください。その際、フライシート上部のブラパーツ (円形) をメインポールの先端 (突起部分) にはめてください。



5. 本体とフライシートのジョイントパーツをカラーに合わせて 4 か所装着してください。



6. ファスナー 2 本ある面が正面 (タープ側)、ファスナー 1 本ある面が後面となっております。

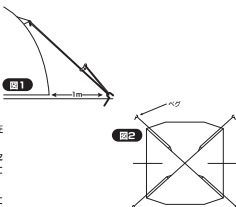


### 7. 張網の活用

※テントはその構造上、風の抵抗を受けやすくはなっています。「張網」を必ずご活用下さい。

#### ■ 取り付け方

- まず自在ロープの端をロープに固定します。そして打ったペグにロープをかけて自在をしめあげます。
- 図1・図2の要領にて4か所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。
- 自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調整して下さい。



この度はTYPE-A タープテントをお買い上げいただき誠に有難うございました。  
テント設置の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んで下さい。  
また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設置して下さい。

### タープ設置方法

#### 【ハーフオープンスタイル】

- ファスナーが縦に 1 本ある面 (後面) の左右下部にファスナーがありますので、両サイドとも一番上まで開きます。
- 1 でシートを開いたら、正面にあるグロメット (穴) にキャンビーボールを差し込み、自在付ロープでボールを固定して完成です。



#### 【フルオープンスタイル】

- ハーフオープンの状態で、☆印のインナー部分を開きます。内部上部にシートを広げるファスナーがありますので、一番下まで開きます。



- ファスナーを全て開いたら、印のタープ用自在付きロープを張り、ペグを地面に打ち込みます。
- フルオープン完成です。

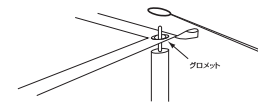


### タープの張り出し方法

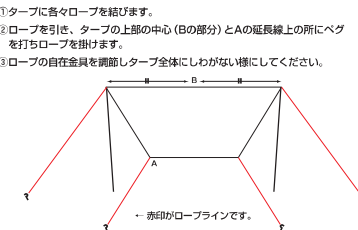
- ポールを立てる
- タープのサイドをロープで固定する

- ① ポールにタープのグロメット、ロープの先端の結んである輪の順に掛け、ポールを立ててください。
- ② ポールが傾、横すべりの方向から見ても地面から垂直に立つ様ロープを調整してください。

ポールの下部を目印の位置より20cm程、内側へ寄せてください。



- ① タープに各々ロープを結びます。
- ② ロープを引張り、タープの上部の中心 (Bの部分) とAの延長線上の所にペグを打ちロープを掛けます。
- ③ ロープの自在金具を調節しタープ全体にしわがない様にしてください。



### ペグ・自在ロープの使用方法

- テントの中心から窓に向かって伸ばした線上に、ペグを打ちてください。このときペグの柄はまたま地面に刺さらない程度にします。
- 図のようにペグに自在ロープを引掛け、ストッパーを上に向けてスライドさせるとロープがびんと張られます。
- 前後にペグを挿し、ほうが地面に埋まるまで打ち込みを完成です。残りも同様、対角線に張るようにして固定します。

▲注意 ●ペグを打ち込む際には必ずハンマー等の工具を使って打ち込みしてください。手で直接打ち込むと怪我をすることがありますので絶対に避けください。

### ▲取扱上の注意

- テント内での火気の使用は危険ですのでお避け下さい。また炎から離れたところに設置して下さい。
- テント内と外の気温差が大きい時、テント内に水滴が生じることがあります (結露) これは水濡れではありません。窓を空けるなど換気を行うことで軽減できます。
- 台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避け下さい。

### ▲収納・保管の注意

- ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納、保管して下さい。濡れたままの状態でご収納すると色うつりする場合があります。